



菊地 時子  
(日本共産党)

## 介護サービスの充実 と高齢者福祉

**質問** 介護保険法の改正により、要介護度1以下の人たちが車いすやベットの借り入れができなくなった。自立支援のため利用への助成はできないか。また、二ツ井地域で実施している70歳以上へのシルバーパス券は、市全体で実施できないか。

**答弁** 要介護度の軽い人への福祉用具の貸与は、用具に頼り切りになるなど自立支援の趣旨にそぐわない事例も多く見受けられる。今回の法改正では、要支援1、2、要介護1の人への貸与の一部が給付対象外となったものであり、市としては、介護保険制度での実施を基本として進めたい。シルバーパス券は二ツ井の地域性から実施されたもので、巡回バスを運行している能代地域とは地域事情や公共交通の需要も異なるので、市全体での実施は考えていない。しかし、交通弱者の交通手段の確保は、どんな施策がより有効か研究を

進めていく。

## 地産地消の取り組みと まちづくり

**質問** 地産地消推進計画の中で、学校給食への地元食材の利用目標はどのようになっているか。地産地消を支えるには、多くの農家が必要であり、品目横断的経営安定対策から外される農家に対してこそ支援し、自給率向上を目指す考えは。

**答弁** 学校給食への地元農産物利用は、現状の利用率35%を5ポイント高めた40%を目標にしている。新鮮でおいしく、安全・安心な地元農産物を提供するとともに、利用拡大を図っていききたい。そのためには、小規模農家を含め、より多くの農家から新鮮でおいしい農産物をつくらせてもらうよう「夢プラン応援事業」や「がんばる農業者支援対策事業」等での支援を行うとともに、地元農産物のPRを積極的に実施していき、自給率の向上や地域の活性化を図っていききたい。

### 菊地議員のその他の質問事項

○除排雪対策について

## 中心市街地活性化



渡辺 優子  
(公明党)

**質問** 改正まちづくり三法は、まち中心部ににぎわいを再生することになり、まちの中の空き家・空き店舗を改修し、世代を越えて交流ができるコミュニティ広場の構想はないか。また、この法が市内の商店街活性化に生かせるのか。

**答弁** 中心市街地活性化のためには、コミュニティ機能の強化が必要だと考えている。コミュニティ広場構想については、高齢化や核家族化の対応としての効果も期待できるの、関係団体とも協議しながら検討していききたい。中心市街地活性化法の改正で、国の支援策を受けるためには、事業効果が具体的で、事業主体やスケジュールが定まった熟度の高い計画が求められており、地方公共団体、地域住民及び関連事業者が相互に密接な連携を図りつつ、主体的に取り組むことが重要である。これにより商店街活性化を推進することができると考えている。

## いじめ問題

**質問** いじめ問題が異常な広がりで見開、いじめる側が100%悪いという認識を学校、家庭、地域に徹底させることが大事。緊急事態として、期限を設け電話相談を実施し、子供たちの悩みに対応すべき。また、教員の資質向上への取り組みは。

**答弁** 教育委員会では、「風の子電話」という電話相談を実施している。改めて「風の子電話」や県の「いじめ緊急ホットライン」の番号を周知するとともに、児童生徒や保護者向けに相談機関一覧表を配付した。また、4小学校と全中学校に配置している「心の教室相談員」への相談活動とあわせて、夏休みには勤労青少年ホームにいる教育相談員にも、直接、児童生徒が相談できるようにしたが、冬休みにも相談強調週間を実施する予定である。教員の資質向上は大変重要な課題であり、今後とも教員研修を実施して教員の資質向上に取り組んでいく。

### 渡辺議員のその他の質問事項

○CAPプログラムについて①不審者件数と内容の把握②児童虐待の実態③CAPプログラムの導入